

KINKON

2023 夏
vol.19

ZERO
CO₂
2050™



北越コーポレーション

KINKONは、当社工場の地名の頭文字を組み合わせ、お客様を訪問する際のチャイム音「キンコン♪」をイメージした、当社の環境活動通信誌です。

脱プラ・減プラに有効な“紙”あります！

持続可能な社会の実現に向け、制定された「プラスチック資源循環促進法」。

北越コーポレーションは、同法の趣旨に沿った紙素材を提案しています。

これらをプラスチック使用製品の設計等に活用し、

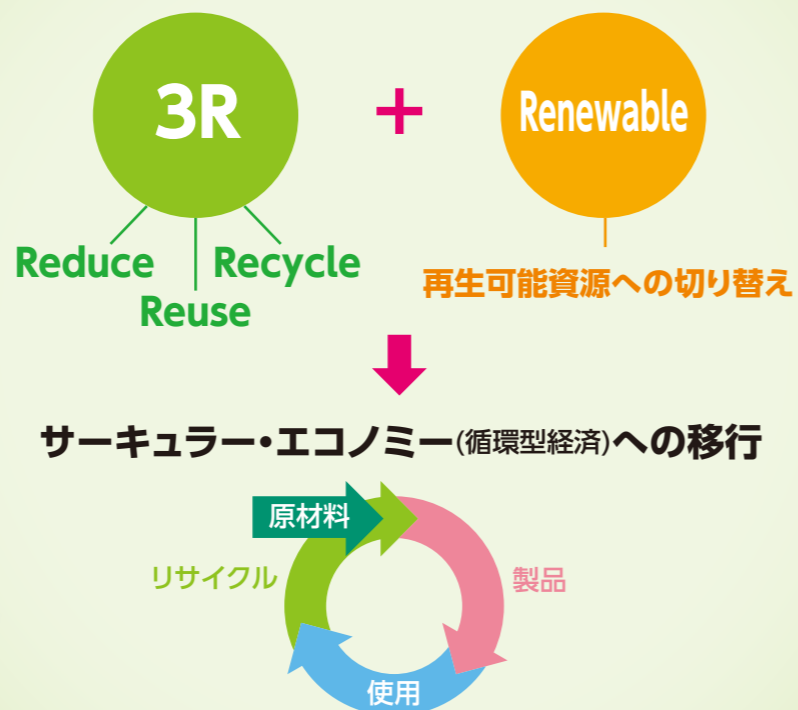
同種の製品と比較して特に優れた設計として「認定プラスチック使用製品」に認定されると、

グリーン購入法上の配慮や支援が受けられます。

●プラスチック資源循環促進法とは——

内閣総理大臣をはじめ財務省や経済産業省など、政府が一体となって強い姿勢で推進する「プラスチック資源循環促進法」。プラスチック製品の設計・製造から販売、廃棄物の処理という流れの中で、プラスチック資源循環「3R+Renewable」を進め、サーキュラー・エコノミー(循環型経済)への移行を推進するための法律で、2022年4月に施行されました。プラスチック使用製品を製造する企業は、脱プラのアクションに取り組み、それを公表することが義務付けられています。

プラスチック使用製品の製造事業者は、まず設計・製造の段階でプラスチック使用製品設計指針をクリアし、設計認定を受けることが求められます。構造に関しては単一素材化、分解・分別の容易化など8項目が、また材料に関しては配慮事項としてプラスチック以外の素材への代替などが定められています。



●プラスチック資源循環戦略

プラスチック資源循環促進法の基になった戦略で、海洋プラスチックごみ問題や気候変動問題などの幅広い社会課題に対応するため、2019年5月に策定されました。

同戦略は、3R+Renewableを基本原則に、①資源循環、②海洋プラ対策、③国際展開、④基盤整備の4つの重点戦略を掲げています。また同戦略では、取り組み内容に対する具体的なマイルストーンを設定しています。

プラスチック資源循環促進法は、上記の3R+Renewableを具体化するために制定されました。

【6つの野心的なマイルストーン】

		2025まで	2030まで	2035まで
3R	リデュース		ワンウェイプラスチックを累積25%排出抑制	
	リユース・リサイクル	リユース・リサイクル可能なデザインに	容器包装の60%をリユース・リサイクル	使用済プラスチックを100%リユース・リサイクル等により、有効利用
Renewable	再生利用		再生利用を倍増	
	バイオマスプラスチック		バイオマスプラスチックを約200万トン導入	

北越コーポレーションがプラ代替についてお手伝いできること

カップ原紙

フレッシュパルプ100%で蛍光染料不使用。直接食品が触れても問題なく、耐水性、紙コップや大径カップ型容器などへの加工適性もあります。高級感ある仕上がりが特徴です。

<提案・採用事例>

弁当容器をはじめ、これまでプラスチックで製造していた容器の紙化を提案しています。

◆お問い合わせ/カップ事業推進室



はまゆう

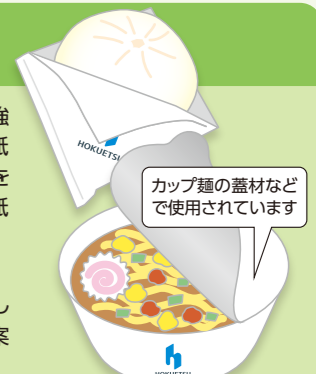
純白ロール紙の代表銘柄で、紙力が強く、印刷・包装適性にも優れた加工原紙です。蛍光染料不使用で、一般包装紙をはじめ、各種貼合紙、紙レース、剥離紙などに使われます。

<提案・採用事例>

プラスチックフィルム包装の代替として、食品用包装紙などでの活用を提案しています。

◆お問い合わせ/洋紙営業部

※各種食品包装の加工原紙として使用されています。



PASCO

木材繊維を主原料にした環境に優しい自然素材です。紙を超える強度、優れた加工性、豊富なカラーなどの特徴があり、独創的なプロダクトを生む素材として注目されています。

<提案・採用事例>

強度が高く、リサイクル面にも優れており、プラ代替としてハンガー等幅広い用途で使用可能です。

◆お問い合わせ/機能材営業部



マリコート-F・NEW DV-F

古紙パルプを使用した、印刷加工に適した白板紙です。実績に裏付けされた品質で、市場では高いシェアを有し、お菓子や化粧品をはじめ様々な箱などに使用されています。

<提案・採用事例>

外箱やまとめ箱、トレーなど様々に活用でき、店頭展示やPOPもプラからの代替が可能です。

◆お問い合わせ/白板紙営業部



ヴァルカナイズドファイバー

原料紙を薬品処理することにより、セルロースナノファイバー化させ、積層して乾燥させた強靱なシート素材。粘り強い、割れにくい、電気を通しにくいなどの特徴があります。

<提案・採用事例>

強度が高く弾性も有しているため、化粧BOXやクリップなどのプラ代替として提案しています。

◆お問い合わせ/機能材営業部、北越東洋ファイバー



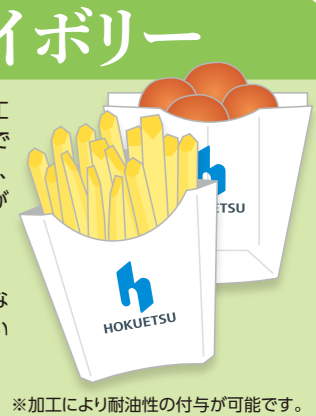
NEWタフアイボリー

フレッシュパルプ100%の、優れた加工適性と抜群の印刷適性を持つ白板紙です。蛍光染料を使っていないことから、食品関連における用途に多くの実績があります。

<提案・採用事例>

店舗や小売店でのテイクアウト容器など、プラフィルムの代替などにご使用いただけます。

◆お問い合わせ/白板紙営業部



※加工により耐油性の付与が可能です。

食品を安心・安全に包む紙「パンセ」

北越グループでは、プラスチック削減に貢献するため、環境配慮型製品の開発に取り組んでいます。紙に僅か数ミクロンの薄いコーティングをした紙素材「パンセ」もその一つ。アメリカ食品医薬局に認められた安全なコーティング剤は、水や油を遮るバリア機能、ヒートシール性能、加工適性を有しており、様々な原紙に塗布することで、プラスチック製品に取って代わる「紙」になり、プラスチック使用量を大きく削減することが可能です。

◆お問い合わせ/商品開発室及びカップ事業推進室



●カップ用途/お弁当やお惣菜用の容器として使用可能です。



●包装紙用途/プラスチックフィルム包装の代替を提案しております。

投資家が注目する「CDP」で高評価を獲得!

今、機関投資家などが取り組みを注視し、存在感を高めている国際NGOがあります。ロンドンに本拠を置く「CDP」という組織で、世界主要企業の環境活動に関する情報を収集・分析・評価し、これらの結果を機関投資家向けに開示しています。

CDPが注目を集める背景には環境問題、特に気候変動の問題が世界的にも注目されていることにあります。気候変動問題が重要性を増すにつれ、各企業は短期の財務諸表には現れないリスクを抱えている可能性が高まり、金融機関、株主、投資家などからの非財務情報の開示要請が高まっているのです。

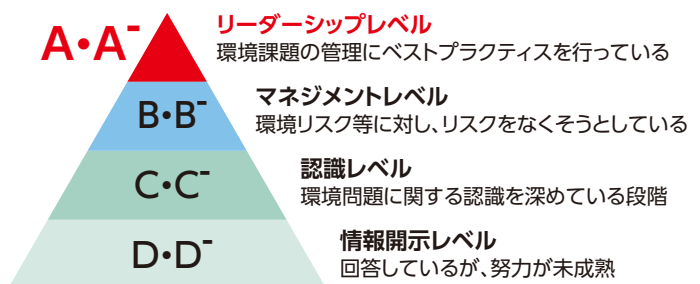
情報開示プログラムは、気候変動、ウォーターセキュリティ、フォレストの3種類。CDPは世界各国の企業にこれらに対する取り組みについての質問書を送り、その回答内容によってA~Dの4段階で評価をしています。無回答の場合はFとなります。



主な質問は、ガバナンス、リスク・機会、事業戦略、目標と実績、CO₂排出量の算定方法など多岐に及びます。当社では、様々な部署が協力して対応にあたり、気候変動について回答を実施。作成した回答書は70ページに及びました。

CDPスコアは、回答結果に基づき、企業がどの段階であるかを示す指標となるものです。機関投資家の判断材料のひとつで、企業価値を測る重要な指標となりつつあります。当社の2022年の気候変動分野におけるCDPスコアは、リーダーシップレベルの「A」を獲得。環境課題の管理にベストプラクティスを行っている、高い評価を得ています。

CDPの質問は、毎年更新されるため、当社も回答を毎年行います。2022年は生物多様性に対する質問が追加され、さらに2025年は海洋や廃棄物などの新たな質問の組み入れや、気候変動、水、森林の質問書を統合する方針になっています。



長岡造形大生が「紙」をテーマにキャッチコピーづくり

2022年12月17日、長岡造形大学において「デジタル社会の現代において、紙の重要性を感じてもらう」というテーマで、キャッチコピーづくりのワークショップが開催され、当社も参加しました。

JR貨物鉄道(株)などのコピーライターを務める池端宏介氏を講師に、長岡造形大の学生36名が、「紙・印刷物のよさを伝える」キャッチコピーづくりに挑戦。豊かな発想でキャッチーな一文を捻り出していたきました。

多彩な作品の中から、「紙自体が持つ本質的な価値を表現している」として、池端講師から神セブン7作品を、また「デジタル社会における紙のいいところ、紙を使いたくなるキャッチコピーである」として、当社から北越コーポレーション賞3作品を表彰しました。



<神セブン>

- 「ノートの数だけ自信がついた」
- 「あなたの書く『好き』が下手で好き」
- 「パスワードとか結局 紙に書いてる」
- 「消しゴムの跡が努力の証」
- 「本当は わざと忘れたの、机をくつつけるためにね」
- 「紙に向かう人って いい目してる」
- 「発売日から1日遅れるから、東京がうらやましかった」

<北越コーポレーション賞> ファイバー製品を贈呈

- 最優秀賞
「うすっぺらいのは、みためだけ」
- 優秀賞
「人といちばんかみ合うツール」
- 優秀賞
「書いて 描いて 意思疎通 紙で 減らして CO₂」



編集後記

今号では2022年4月に制定された「プラスチック資源循環促進法」の概要と、当社で製造しているプラ代替製品についてご紹介しました。同法制定の背景には海洋プラスチックごみ問題や気候変動問題の深刻化、諸外国の廃棄物輸入規制強化に伴う国内でのプラスチック資源循環のニーズの高まりがあり、脱プラスチックの流れは今後も加速が見込まれます。

当社の製品は食品のテイクアウト容器から、ハンガーやキャリーケースまで、多用途で使用されています。今後も環境配慮型製品の開発を進め、プラスチック代替ニーズにお応えしてまいります。

この通信誌の用紙にはミューマット-F 157g/m²を使用しております。

KINKON vol.19

2023年8月発行

【発行】

北越コーポレーション株式会社

〒103-0021 東京都中央区日本橋本石町3-2-2

TEL(代):03-3245-4500 FAX:03-3245-4511

https://www.hokuetsucorp.com

ZERO
CO₂
2050™

